

九州歴史資料館の基本方針（使命）

九州歴史資料館は、福岡県固有の歴史や伝統文化の中で培われた各種文化財の調査・研究、収集、保存・活用、展示・公開・普及を行う博物館機能と、大宰府史跡及び県内各種開発事業に伴う発掘調査・研究及び出土品の収蔵・管理を行う埋蔵文化財センター機能を併せ持つ本県文化財保護の拠点施設として、貴重な文化財を確実に保存し後世に継承するとともに、文化財愛護思想の普及啓発に努め、県民が郷土の歴史に誇りを持ち、親しめる環境をつくります。

九州歴史資料館の基本目標

1：「利用者の視点に立った博物館づくり」

歴史系博物館として、基本機能の充実を図り、質の高い活動を展開し、安全安心で利用者の視点に立った博物館づくりを推進します。

2：「文化財・郷土の歴史等に対する理解を深める」

充実した博物館資源を活かして、県民の学習ニーズに対応した多様な学びの場を提供し、文化財に対する理解を深める取組を進めます。また、子どもたちが郷土の歴史、文化、伝統などに対する理解を深め、これらを大切に思う心を育成します。

3：「福岡県の文化財保護の推進」

文化財保護の拠点施設として、福岡県文化財保護大綱の基本理念のもと、市町村や関係機関との連携を強固なものとし、共同研究、情報共有、人材育成、技術的な支援等を積極的に行い、県内に分布する文化財の保護を推進します。

4：「文化財の調査・研究」

古来、アジア大陸との交流拠点として歴史上重要な位置を占めていた九州の歴史・文化等を学術的に調査研究する施設として、九州全域を視野に入れつつ大宰府史跡をはじめとする福岡県の歴史を知る上で重要な文化財の調査・研究を進めます。

5：「調査研究成果の活用」

調査研究の成果が、県民や研究者、文化財保護等に関わる者などの学習や研究等に資するものとなるよう内容の充実に努め、展示や情報発信を通じて、広くその成果の活用を図ります。